

011464051

WPI Acc No: 1997-441958/199741

Personal information processing/communication system e.g. composite machine including telephone set, facsimile, computer - includes controller to provide personal code for encryption of information as well as identify encryptions and regulate access by various terminals

Patent Assignee: XU M W (XUMW-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9200367	A	19970731	JP 964033	A	19960112	199741 B

Local Applications (No Type Date): JP 964033 A 19960112

Priority Applications (No Type Date): JP 964033 A 19960112

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9200367	A	12	H04M-011/00	

Abstract (Basic): JP 9200367 A

The system includes a telephone network (1) facsimile controller (2), keyboard (4) and a printer (6). A multi- frequency decoder (8) is coupled between the telephone network and facsimile controller.

A voice synthesizer (7) is provided at the side of the telephone network. The facsimile controller provides personal code for encryption of information from various terminals. The controller is also responsible for identifying the encryption and granting access to various terminals.

ADVANTAGE - Caters to needs of many users.

Dwg.1/5

Derwent Class: W01; W02

International Patent Class (Main): H04M-011/00

International Patent Class (Additional): H04N-001/44

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-200367

(43)公開日 平成9年(1997)7月31日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
H04M 11/00	303		H04M 11/00	303
H04N 1/44			H04N 1/44	

審査請求 未請求 請求項の数33 OL (全 12 頁)

(21)出願番号 特願平8-4033

(22)出願日 平成8年(1996)1月12日

(71)出願人 596005115

許 明偉

台湾台北市内湖区康寧路三段245巷46号2
樓

(72)発明者 許 明偉

台湾台北市内湖区康寧路三段245巷46号2
樓

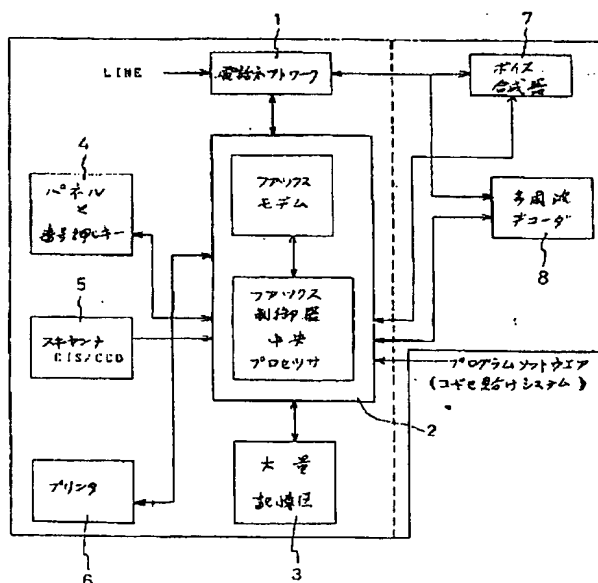
(74)代理人 弁理士 服部 雅紀

(54)【発明の名称】 多くの人が使用するパーソナル情報システム

(57)【要約】

【課題】 一つの方を提供して、多くの人が使用するパーソナル情報システムになるため、電話ネットワークの下に、パーソナル通信の信号の情報にはボイス、ファックス、データが含まれて、すべてパーソナルの特定処理をなせられる多くの人が使用するパーソナル情報システムを提供する。

【解決手段】 電話ネットワーク1、ファックスモデム／制御器2、大量記憶装置3、パネル番号押しキーボード4、スキャナ5、並びにプリンタ6等の各部分によって形成されている。図中点線右側は、本発明中に増設して前記電話ネットワーク1とファックスモデム／制御器の間に連結した多周波デコーダ8、並びに前記電話ネットワーク1の連結したボイス合成器7で、前記ファックスモデム／制御器は、その中に多セットの対立し合うパーソナルインホメーションコードとパーソナル暗号と、これら明、暗号を識別してアクセスを判定するコードシステムが設置されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】一つのメモリ装置を含んで、書類をストアするのに用いられ、

一つのペーパレスファクシミリは、電話ネットワーク (TELEPHONENETWORK) を含んで電話線上の来話情報 (INCOMING MESSAGE) を受信するのに使われ、ファックスモデム/制御 (FAX MODEM/CONTROLLER) 間には中央プロセッサ (CENTRAL PROCESSING UNIT)、キーボード、スキャナー、プリンターが含まれ、

周波デコーダ (DUAL TONE MULTIFREQUENCY DECODER) は、上記電話ネットワークと上記ファックスモデム/制御器の間に連結され、又はそれに述べるファックスモデム/制御器トランジスタ内に含まれて、来話情報 (INCOME MESSAGE) の前置多周波信号のデコーディングに使われ、更に上記ファックスモデム/制御器の中央プロセッサによって見分け (RECOGNITION)、それに述べる中央プロセッサ内に一つのコードシステム (CORDING SYSTEM) が含まれ、それにはマルチセットを含んでユーザによってキーボードで設定したパーソナルコード (PERSONAL CODES) は、毎セットのパーソナルコードに一つのパーソナルインホメーションコード (PERSONAL INFORMATION CODE) が含まれて各ユーザの来話情報 (INCOMING MESSAGE) の受信代表 (ADDRESSEE)、並び一つのパーソナルインホメーションコードに対応し合うパーソナルコード (PERSONAL CONFIDENTIAL CODE) を示すのに使われ、来話情報の前置多周波信号 (THE LEADING DUAL TONE MULTIFREQUENCY SIGNATS) が多周波モデムによって切り換えた後、それに述べるコードシステム (PERSONAL INFORMATIONCODE) と比較してその代表する受信者を見分け、更に来話情報を上記の記憶装置にストアし、ストアしたパーソナル情報は上記のキーボードによってパーソナル暗号をキーインして、呼出して (RETRIEVE) 上記プリントアウトする多くの人が使用するパーソナル情報伝送と受信システム。

【請求項2】上記の記憶装置は上記ペーパレスファクシミリ内に設置される請求項1記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項3】上記記憶装置は一つのコンピュータで、その入出力端は上記ペーパレスファクシミリへ連結している請求項1記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項4】それは又一つの音声合成器 (VOICE SYNTHESIZER: VOICE CODE) を

増設し、それを告知器 (OGMGENERATION) とし、それを上記電話ネットワークと上記ファックスモデム/制御器と上記記憶装置へ連結し、又はそれを上記ファックスモデム/制御器トランジスタ内へ含み、上記告知器の告知情報は、上記記憶装置へストアして、来話相手の来話情報を知らせる入力指示に使われる請求項1記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項5】上記告知情報は、来話相手を指示する入力受信者コードとして、又情報を伝えられる請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項6】上記告知情報は、来話相手を指示するキーインXXXとしてMRBへ上げられ、これは受信者に知らせるインホメーションコードで、その選択入力に供する請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項7】上記告知情報は来話相手を指示する次の名前とせられ、聞いてXXキーを押したならば、受信者を指定する請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項8】上記告知情報は、上記音声合成器へ連結した記憶集積回路へストアする請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項9】上記の情報を知らせる記憶体は、上記記憶装置へ含まれている請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項10】又上記パーソナルコードへ増設して対立をなすボイス入力の設定は、各ユーザがそのボイス情報を上記告知情報の入力とし、そのパーソナルインホメーションコード又は暗号は上記キーボードによって入力し、両者は対立する入力をなし、上記キーボードの入力命令により、又は電話線上から入った多周波信号の命令により、上記ボイス情報を電話上又は内部のラッパへ出力する請求項4記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項11】パーソナルインホメーションコード又は暗号に対立するボイス情報は、ユーザが選ぶボイス名前で、上記キーボードによる入力命令、又は電話線上から入る多周波信号の命令は、このボイス名前を含んだ関連情報を電話線上又は内部のラッパへ出力する請求項1記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項12】それは又上記コードシステムで切換 (TRANSFER) を設定し、ユーザがそのパーソナルインホメーションコードで一つの遠端電話番号を設定すれば、ストアしたパーソナル情報は、自動的に上記遠端電話番号へ伝えられる請求項1記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項13】それは又上記コードシステムにリモート (REMOTE) 命令を設定し、ユーザが遠端電話から上記リモート命令の多周波信号を入力すれば、資料を更生せられ、例えば上記パーソナルインホメーションコ

ード、暗号、切換電話番号、又は来話情報をストアした後通知が必要な電話番号に設定し、並びに機能パターンに設定する請求項 1 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 1 4】 それは一つのデータ／ファックスモデム (DATA/FAX MODEM) 装置を含み、それは内部に使用し又はコンピュータへオンラインし、電話線上でデータ／情報ファックスの伝送と受信処理をなし、

一つの多周波デコーダ (DTMF RECEIVER) は、それを上記データ／ファックスモデムトランジスタ内に含み、又は上記データ／ファックスモデムの電話ネットワークへ連結し、

一つのコードシステムを含むデータ／ファックスコンピュータ作業ソフトウェア、上記コードシステム (CODING SYSTEM) は、それに多セットのパーソナルコード (PERSONAL CODE) を含み、上記パーソナルコードはパーソナルインホメーションと対立し合うパーソナル暗号を含み、全てユーザによってコンピュータキーボード又はコンピュータ表示スクリーンのキーボードで入力して設定し、上記パーソナルインホメーションコードは情報来話の受信者 (THE ADDRESSES) を代表し、来話情報の前置多周波信号 (DTMF SIGNAL) は多周波デコーダにより、上記コードシステムのために多セットストアしたパーソナルインホメーションコードと照合して受信者を見分け、上記来話情報をコンピュータストアシステムへストアし、上記パーソナル暗号は各ユーザによってコンピュータキーボード又はコンピュータ表示スクリーン上のキーボードから入力して、来話情報が表示又はプリントアウトせられる多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 1 5】 上記の多周波デコーダを含んだデータ／ファックスモデム装置は、上記コードシステムを含んだデータ／ファックスコンピュータ作業ソフトウェアと共にコンピュータへ設置して、一つの多くの人が使用するパーソナル情報を受け取るためのコンピュータである請求項 1 4 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 1 6】 それは又一つの音声合成器 (VOICE SYNTEESIZER: VOICE CODE C) を含み、それを告知器とし、それは上記データ／ファックスモデム／制御器トランジスタ内に含まれ、又は上記電話ネットワークへ連結し、上記告知器への告知情報 (OGM) は一つの記憶装置へストアし、来話相手 (THE CALLER) の来話情報を知らせる入力指示に使われる請求項 1 4 及び 1 5 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 1 7】 上記告知情報は、来話相手の入力請求受信者コードを指示した後、又情報を伝えられる請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

ム。

【請求項 1 8】 上記告知情報は、来話相手のキーイン XXX を MRA とし、キーイン XXX を MRB とする

等を指示せられ、これは受信者に知らせるインホメーションコードで、その入力選択に供される請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 1 9】 上記告知情報は、来話相手の次の名前を指示せられ、聞いてから X キーを押せば受信者ヲ指示する請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 0】 上記の情報を知らせる記憶装置は、集積回路を記憶するため、それは上記音声合成器へ連結されている請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 1】 上記の情報を知らせる記憶装置は、上記コンピュータのストアシステムである請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 2】 上記パーソナルコードへ増設して対立するボイス情報入力を設定すれば、各ユーザはそのボイス情報を告知情報として入力し、そのパーソナルインホメーションコード又は暗号は上記キーボードから入力し、両者は対立する入力をなし、上記ボイス情報は上記コードシステム処理のため上記パーソナルインホメーションコード又は暗号に着いた場合、電話線上又は内部のラッパへ出力せられる請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 3】 上記のパーソナルインホメーションコード又は暗号に対立するボイス情報は、ユーザのために選んだボイス名前であり、上記のキーボード入力命令により、又は電話線上から伝えた多周波信号の命令は、上記ボイス名前の関連情報を含んで、電話線上又は内部のラッパへ出力する請求項 1 6 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 4】 それは又上記コードシステムで切換の設定を設置し、ユーザはそのパーソナルインホメーションコードで一つの遠端電話番号を設定すれば、ストアしたパーソナル情報は、自動的に上記遠端電話番号に切り換えられる請求項 1 4 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 5】 それは又上記コードシステムでリモート命令の設定を設置し、ユーザが遠端電話から上記リモート命令の多周波信号を入力すれば、それは資料を改正せられ、上記のようなパーソナルインホメーションコード、暗号、切換電話番号、又は来話情報をストアした後通知すべき電話番号に設定し、並びに機能パターンに設定する請求項 1 4 記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項 2 6】 それは一つの記憶装置を含んで、ボイス情報をストアするのに使われ、一つの電話答録機はそれに電話ネットワーク、中央制御

ユニット、キーボード、ボイス合成器（VOICE SYNTHESIZER: VOICE CODEC）と上記記憶装置が含まれている。多周波デコーダ（DTMF

RECEIVER）は、それが上記中央制御ユニットの中央プロセッサトランジスタ内、又は上記ボイス合成器トランジスタ内に含み、又はそれ上記電話ネットワークと上記中央制御ユニットへ連結し、それは電話上来話情報の前置多周波信号をデジタル信号に切換、更に上記中央制御ユニットのためにコードシステムを見分け、コードシステム（CODING SYSTEM）は上記制御ユニット内に含まれ、それは多セットのユーザがキーボードで設定するパーソナルコード（PERSONAL CODES）を含み、毎セットのパーソナルコードはパーソナルインホメーションコード（PERSONAL INFORMATION CODE）を含んで来話情報を代表する受信者と、対立し合うパーソナル番号（PERSONAL CONFIDENTIAL CODE）に使われ、電話線上の来話情報の前置多周波信号が、多周波デコーダによって切り換えた後、上記コードによりストアした多セットのパーソナルインホメーションコードと比較して、上記前置多周波信号が代表する受信者を受け取って、上記記憶装置にストアし、上記パーソナル暗号は上記キーボードによって入力すれば、ストアしたパーソナル情報が呼び出され、上記ボイス合成器によって、電話線上又は内部のラッパへ出力する多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項27】 上記のボイス合成器は告知器とし、その告知情報は上記記憶装置へストアし、又は上記ボイス合成器と連結する記憶集積回路へストアする請求項26記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項28】 上記告知情報は、来話相手の入力請求受信者を指示して、又情報を伝えられる請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項29】 上記告知情報は、来話相手のキーインXXXをMRAに上げ、キーインXXXをMRBに上げる等を指示せられ、これは受信者に知らせるコードで、入力の選択に供する請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項30】 上記告知情報は、電話相手の次の名前を指示するため、聞いてからXキーを押せば、受信者を指定せられる請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項31】 又上記パーソナルコードへ増設して対立するボイス情報の入力を設定し各ユーザはそのボイス情報とそのパーソナルインホメーションコード又は暗号を対立し合って入力とストアをなせば、ボイス情報は情報を知らせる入力をなし、パーソナルインホメーションコード又は暗号は上記キーボードから入力し、上記ボイス情報は上記コードシステムのために上記パーソナルインホメーションコード又は暗号 処理した場合、電話

線上又は内部のラッパへ出力する請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項32】 上記のパーソナルインホメーションコード又は暗号に対立するボイス情報はユーザのために選んだボイス名前であり、上記のキーボード入力命令により、又は電話上から伝えた多周波信号の命令は、上記ボイス名前の関連情報を含んで、電話線上又は内部のラッパへ出力する請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【請求項33】 それは又上記コードシステム設置切換（TRANSFER）の設置を含み、ユーザはそのパーソナルインホメーションコードに於て一つの遠端電話番号を設定すれば、ストアしたパーソナル情報は、自動的に上記遠端電話番号へ切り換える請求項27記載の多くの人が使用するパーソナル情報システム。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 本発明は、多くの人が使用するパーソナル情報システムに関する。

【従来の技術】 目下電話システムは1セットの電話線を使用する方式の下に、すべてオンラインマルチ機、例えば電話機、答録機、ファクシミリ、コンピュータ（データ機を含む）等の相互オンラインで、多くの人が使用する状態のため、例えば家庭、会社は来話情報が等しくない種類、例えばボイス、ファックス、データがあるため、パーソナル情報も又このために多様化し、パーソナル情報の実際需求と処理はより重要視せねばならないので、多くの来話相手は特定したパーソナル又は対象を受信者としている。

【発明が解決しようとする課題】 目下使用している方式は、上記多種の通話機器で、来話情報に対し多くは開放に属す使用環境であるため、パーソナル情報は極めてたやすく秘密を漏らす状況にあり、例を挙げると、ファクシミリのように、受け取った資料はすべてプリントアウトしているのは、皆が分かっており、例えばデータ機を含んだコンピュータが受け取った資料は、たやすく同じ操作方式で表示し、それはすべて来話情報がない指定（受信者）受取、ストア、秘密保守と、呼び出しの処理である。本案は上記欠点に基づいて、コードシステムを採用し、それには多セットの対立し合うパーソナルインホメーションコードと暗号を含み、更にこれらコードの識別を持ってアクセスを制定する処理をなし、並びに多周波デコーダ（DTMFRECEIVER）はその指定した受信者のDTMF信号に切り換えて、上記コードシステムの見分けに供する。なお、ボイス合成器として、来話相手を案内する情報入力に使われる。故に本案の目的は“一つの方（SOLUTION）を提供して、多くの人が使用するパーソナル情報システムになるため、電話ネットワークの下に、パーソナル通信の信号の情報にはボイス、ファックス、データが含まれて、すべてパーソナルの特定処理をなせられる”にある。

【課題を解決するための手段】一つのメモリ装置を含んで、書類をストアするのに用いられ、一つのペーパレスファクシミリは、電話ネットワーク（TELEPHONE NETWORK）を含んで電話線上の来話情報（INCOMING MESSAGE）を受信するのに使われ、ファックスモデム／制御（FAX MODEM/CONTROLLER）間には中央プロセッサ（CENTRAL PROCESSING UNIT）、キーボード、スキャナー、プリンターが含まれ、周波デコーダ（DUAL TONE MULTI-FREQUENCY DECODER）は、上記電話ネットワークと上記ファックスモデム／制御器の間に連結され、又はそれに述べるファックスモデム／制御器トランジスタ内に含まれて、来話情報（INCOME MESSAGE）の前置多周波信号のデコーディングに使われ、更に上記ファックスモデム／制御器の中央プロセッサによって見分け（RECOGNITION）、それに述べる中央プロセッサ内に一つのコードシステム（CORDING SYSTEM）が含まれ、それにはマルチセットを含んでユーザによってキーボードで設定したパーソナルコード（PERSONAL CODES）は、毎セットのパーソナルコードに一つのパーソナルインホメーションコード（PERSONAL INFORMATION CODE）が含まれて各ユーザの 話情報（INCOMING MESSAGE）の受信代表（ADDRESSEE）、並び一つのパーソナルインホメーションコードに対応し合うパーソナルコード（PERSONAL CONFIDENTIAL CODE）を示すのに使われ、来話情報の前置多周波信号（THE LEADING DUAL TONE MULTIFREQUENCY SIGNATS）が多周波モデムによって切り換えた後、それに述べるコードシステム（PERSONAL INFORMATIONCODE）と比較してその代表する受信者を見分け、更に来話情報を上記の記憶装置にストアし、ストアしたパーソナル情報は上記のキーボードによってパーソナル暗号をキーインして、呼出して（RETRIEVE）上記プリントアウトする。

【発明の実施の形態】次の図に示すのは、本発明案の施行を示す。一歩進んで具体的に記述をなすため先ず、ペーパレスファクシミリに施行した説明を挙げる。図1は本発明をペーパレスファクシミリに施行した構造表示図であり、図中の点線左側は、有ペーパレスファクシミリの表示構造で、それは電話ネットワーク1、ファックスモデム／制御器（FAX MODEM/CONTROLLER、中央プロセッサを含む）2、大量記憶装置3、パネル番号押しキーボード4、スキャナ5、並びにプリンタ6等の各部分によって形成されている。図中点線右側は、本発明中に増設して前記電話ネットワーク1とファックスモデム／制御器の間に連結した多周波デコーダ8、並びに前記電話ネットワーク1の連結したボ

イス合成器7で、前記ファックスモデム／制御器は、その中に多セットの対立し合うパーソナルインホメーションコードとパーソナル暗号と、これら明、暗号を識別してアクセスを判定するコードシステムが設置されている。

05 05 ボイス合成器（VOICE SYNTHESIZER：又はVOICE CODEC）7の機器は、比較信号をデジタル信号に切換、上記記憶区ストアのため、又この記憶区ストア信号を最初の比較信号に切り換えるので、告知器（OGMGENERATOR）とするのは、
10 通信領域の人がよく知っており、それは広く電子言葉残し機とでデジタル式答録機械に使われ、それが使用する回路には次の各ブランド型 の集積回路がある。

MESSAGE GENERATORデジタル

1、東芝のT6668、TC8832F、TC8835
15 FとTC8830、TC8833、TC8840。

2、シャープの集積回路（VOICE SYNTHESIZERとVOICERECORDING/PLAYBACK）。

図1に示す本発明の1実施例は、東芝の集積回路T66
20 68を使って告知器7とするのが可能である。なおまたテキサスメータ会社と 電子等多くのブランド型番の並用集積回路があつて、これらあ回路に対し、“告知器”は答録機回路中の一部機能のみであり、その他は

“相手言葉残し ”の処理である。多周波デコーダ8
25 （DTMF DECODER）の回路は一つの集積回路（DTMD RECEIVER）を採用せられ、その作用は、多周波ダイヤルの信号（DTMF）入力がある場合、それを二桁に出力して、ダイヤルの番号（1、2、3、…9、0、*、#、A、B、C、D）を代表する。
30 この連続した番号は、本発明案中のファックスモデム／制御器2によって識別し、更にその後続処理を行う。この 用集積回路を提供するのは、次のメーカ型番がある。

1、コリア三星のT3170。

35 2、東芝のこのシリーズにはTC3500、353302…等8種類がある。

図1に示す本発明案の1実施例は、コリア三星の集積回路T3170を使って多周波デコーダ8とするのが可能である。なお、市販のファクシミリコアセット（FAX

40 MODEM/CONTROLLER）に含まれている機能は益々増加しているため、現在 に単一コアが現れ、更に告知器7と多周波デコーダ8機能のコアを含んでいる。例えばROCKWELLのR96MF Xは単一コアで、R96VF Xには多周波デコーダ8と答録機能処理（告知器7を含む）が含まれている。この類の集積回路を選ん

45 50 用すれば、構造をより簡単にさせられる。これからはっきりわかるように、本発明案には多種選回路の設計途徑があるが、それらはすべて本発明で使用する技術特徴範囲を超えていない。図2は、本発明案中1実施例のデータバンクフレーム表示図である。図中には

データバンク中で設定するアドレスと対立するコードが示されており、コードは明号と暗号両セット含み、明号は前記告知器7で送話者に受信してストアするコードを知らされるのに供され、暗号は特定ユーザ個人が設定して専門にそれ自信が読み取るのに供されるコードを判定し、暗号の秘密さえ保守すれば、他人に分からせずに、データバンク中の関連情報が漏れないのが保持される。使用する場合、先ずパネルと番号キー4を通じて本案で設定した機能パターンを設置し、先に各ユーザの明号と相対するパーソナル暗号をキーインし、ファックスモデム/制御器2内でこの機能の多セット対立明号と暗号の暗号ソフトウェアを設定し、外線電話が入ってフックキーが外れた後、告知器7は自動的に相手に情報を知らせ、その告知方式は次の数個の一つを選ばれる。

1、コールイン請求、又は受信者を指定したコードを押し、ピーピー音を聞いたならば正確であることを示すので、コールイン開始を請求する。

2、コールイン請求は、貴方がAさんに伝えるならば、XXX番…を押し、ピーピー音を聞いてからコールインを開始し、貴方がBさんに伝えるならばXXX…を押す。

3、次の名前中で、XXキーを押すのを聞いたならば、貴方が指定した受信者である。

ファックスモデム/制御器2が正確にコールインコードを識別した場合、ファクシミリはペーパーレス自動受信状態に入り、受信した資料は記憶区3にストアされて、プリントアウトしなく、トランジスタ表示板(LCD)並びにパネル上の発ダイオード(LED)ですべて資料のストアがあるを表示し、押しキーによって操作して、LCDが資料をストアしている明号を表示し、この場合、この明号のユーザのみがその暗号をキーインし、残した資料は初めて自動的にプリントアウトせられる。相手が受信者のコードを押さずに直接伝送キーを押した場合、ファクシミリは一般ファクシミリのように受信すると共にプリントアウトする。本発明案に関する実施例につき、その作業原理は前記ペーパーレスファクシミリ例の説明と同じく、その各実施例の主な概説は次の通りである。

1、一般型ファクシミリ

これは一般ファクシミリの構造で、図1点線左側に示すようであるが、来話情報をストアする大量記憶区3の設置がない。この一般型ファクシミリに来話情報の大量記憶区を設置しているならば、それは同時に来話情報の受取とストアの処理を行えられる。又、それに更に多周波デコーダ(DTMF RECEIVER)8とコードシステム(CODING SYSTEM)10を増設すれば、それは自分で判定する来話情報になって自動的にプリントアウトし、又は大量記憶区3へストアして各ユーザに上げる。それに又ボイス合成器7を増設すれば、前例のように来話相手を知らせるパーソナル情報の入力

表示がある。

2、一般型のファクシミリであるが、コンピュータの入出力端へオンラインせられる。このタイプファクシミリの構造は、図3点線左側に示すように、このタイプファクシミリは、来話情報をオンラインしたコンピュータ9へ伝送して、上記周波デコーダ8と上記コードシステム10は、なお前例のように設置し、作業方式も又同じである。なお、上記ボイス合成器7で使う告知情報は、上記コンピュータのストアシステムへシステムストアせられ、又は増設した記憶集積回路11へストアし、それは上記のボイス合成器8へ連結する。

3、データ機(データ/ファックス)を装備したコンピュータ

図4点線左側に示すように、それにはデータ機回路のコンピュータが設置されている。来話情報は、上記電話ネットワーク1、モデム12、インタフェース回路13から、コンピュータ9に入り、それはコンピュータのモデム作業ソフトウェアに設置して受信とストアの処理を制御し、上記多周波デコーダ8は、上記電話ネットワーク1とインタフェース回路13へ連結し、それに用いる告知情報は、連結した記憶集積回路11へストアせられ、又はオンラインしたコンピュータのストアシステムへシステムストアし、コードシステムのソフトウェア11

は、上記モデム作業ソフトウェアに置き込み、コンピュータ作業ソフトウェアのため、上記方式をコンピュータに装置し、その作業原理と前例ペーパーレスファクシミリは同じである。上記ボイス合成器の告知情報は、上記コンピュータ作業ソフトウェアの制御によって電話線上へ出力せられ、告知情報の入力は、上記ボイス合成器へ連結したマイクロフォン、又は上記電話ネットワークへ連結した電話受話器によってなされる。

4、データ機ソフトウェア、ハードウェアの部品

上記多周波デコーダ、又は上記ボイス合成器を加えて、上記データ/ファックスモデム装置又は回路、例えばインターフェースカードを設置せられ、コードシステムを含んだデータ/ファックス作業ソフトウェアと一つの部品になる。

5、一般型電話答録機

図5点線左側に示すように、それは答録機構造表示図

で、それは電話ネットワーク1、中央制御ユニット2、並びにデジタルに属すボイス合成器7と大量記憶区3、又は比較的に属す答録機録音ヘッド/アンプ14と大量記憶区3を含み、採用して増設した多周波デコーダ8は、電話ネットワーク1と中央制御ユニット2へ連結し、上記コードシステムは、中央制御ユニット2へ置き込む。したがって前例に示すように、来話情報の前置多周波信号は、上記コードシステムによって見分けた後、来話情報を受信して大量記憶区へストアして各ユーザに上げる。なお、上記本案で行うファクシミリ、コンピュータ、答録機はすべてソフトウェアをコードと識別シ

テムへ加えられ、発展した付加機能は次の通りである。

1、切換ソフトウェア

己に記憶区にストアした情報をユーザによって遠端の電話番号に設定させて、自動的に切り換える。

2、リモートソフトウェア

ユーザは遠端の電話機を使って、番号を押してリモート命令を執行し、ユーザの明号、暗号、及び切換の電話番号、及び入力命令番号を改正させて己に記憶区へストアしたパーソナル情報のコールインを要求せられる。

3、ボイスレポートサーチソフトウェア (VOICE-REPORT ONSEARCH)

ユーザはパネルキーボードでどの明号又は暗号を押して、ボイスでその選用了名前のボイスを入力し、マイクロフォン又は電話ネットワークの伝送器を通じてボイス合成器によって、記憶区へストアせられ、かつ明号又は暗号と対立し合うアドレスを有し、コードと識別システムによって制御する。ユーザがパネルキーボードのサーチキー又はサーチ番号を押し、又は遠端電話によってサーチ番号を押せば、このボイスレポートサーチソフトウェアは、自動的に己に記録ストアした情報をサーチし、ストア情報を有するユーザの選用了名前のボイスを記憶区から呼び出し、ボイス合成器によって、電話ネットワークの受信機又はラッパへ出力して、自動的に放送し、これは方式でパーソナル情報のストアがあるか否かが分かるのを便利にしている。

4、電話交換機の相容性

上記電話ネットワークの2本の入力線は、又入力線を増加し連結して電話交換機システムを使用し、増加した入力線は電話交換機で取次ぎ機の信号線と呼び出し、呼び出し取次ぎ機番号は、多周波デコードによって見分け、コードと見分けシステムは予めパネルキーボードの入力によって一つの番号を特定した取次ぎ機に設定し、見分けにより設定した特定番号と同じならば、自動的レベルの信号をラッパへ出力する。以上をまとめ、本発明案が提出した具体的実施には、数項の特点を有してい

る。

1、多セットのパーソナル番号：多くの人が使用することになる。

2、パーソナル明号：来話相手に受信者を指定せられる。

3、パーソナル暗号：受信したパーソナル情報に秘密を保持させられる。

4、告知器：来話相手は如何にしてパーソナル情報を伝送するかを案内し、ユーザに三つの方式を提供する。

10 -自分で入力するのを要求する受信者コード方式

ユーザのパーソナル明号は公開せず、保護作用を持つ。

-ユーザの名前を挙げ、来話相手によって受信者を特定する方式

ユーザのパーソナル明号は公開しないが、来話相手の操作を容易にさせる。

15 -来電相手ユーザを知らせるパーソナル明号方式

ユーザがこれで外へ向かって知らせるのは、パーソナル

電話専門回路を持っているのを示すためである。

5、ボイス、ファックス、データ情報の処理を有する：

20 パーソナル情報をより多様化させるのと周到にするの

で、本発明はパーソナル通信の発展に対して、相当な推進と利益を有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】ペーパーレスファクシミリに施行した構造表示図である。

25

【図2】コードシステム中のパーソナルインホメーションコードとパーソナル暗号の対立関係を示す。

【図3】一つのコンピュータ入出力端にオンラインせられるペーパーレスファクシミリに実施した構造表示図である。

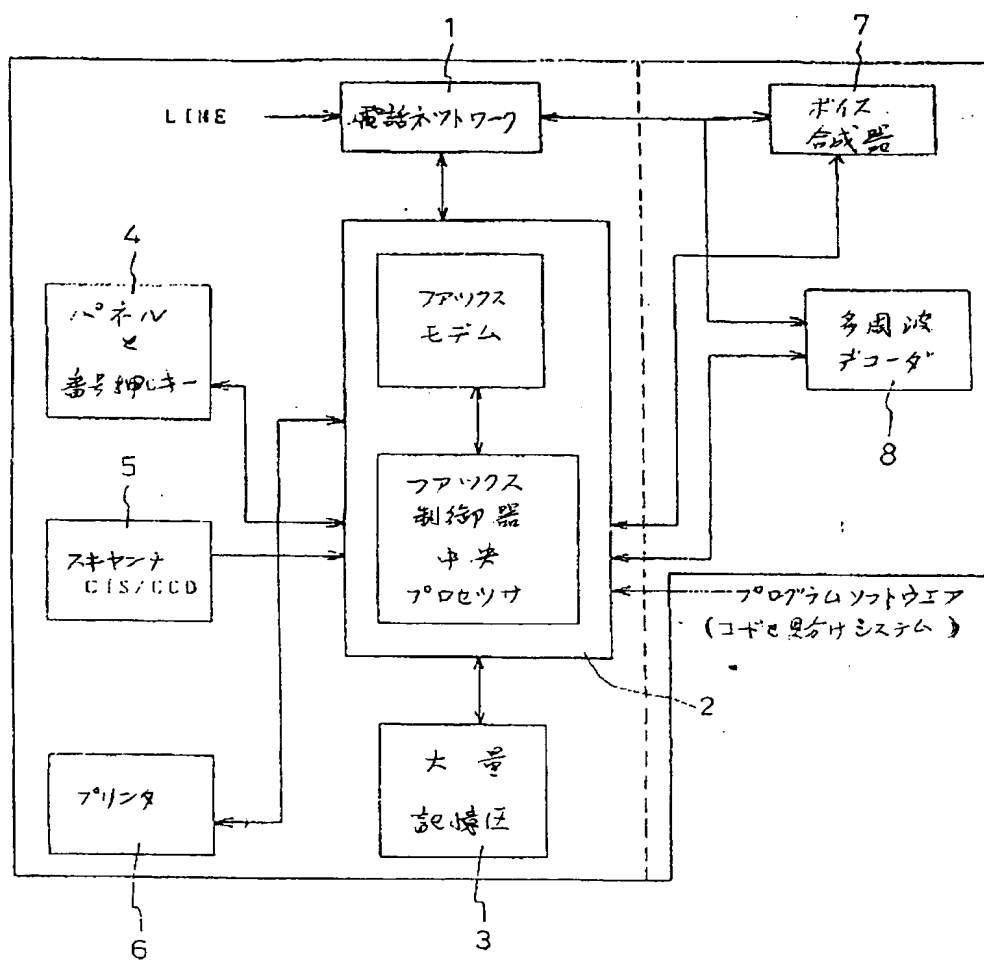
30

【図4】データ機があるコンピュータに実施するための構造表示図である。

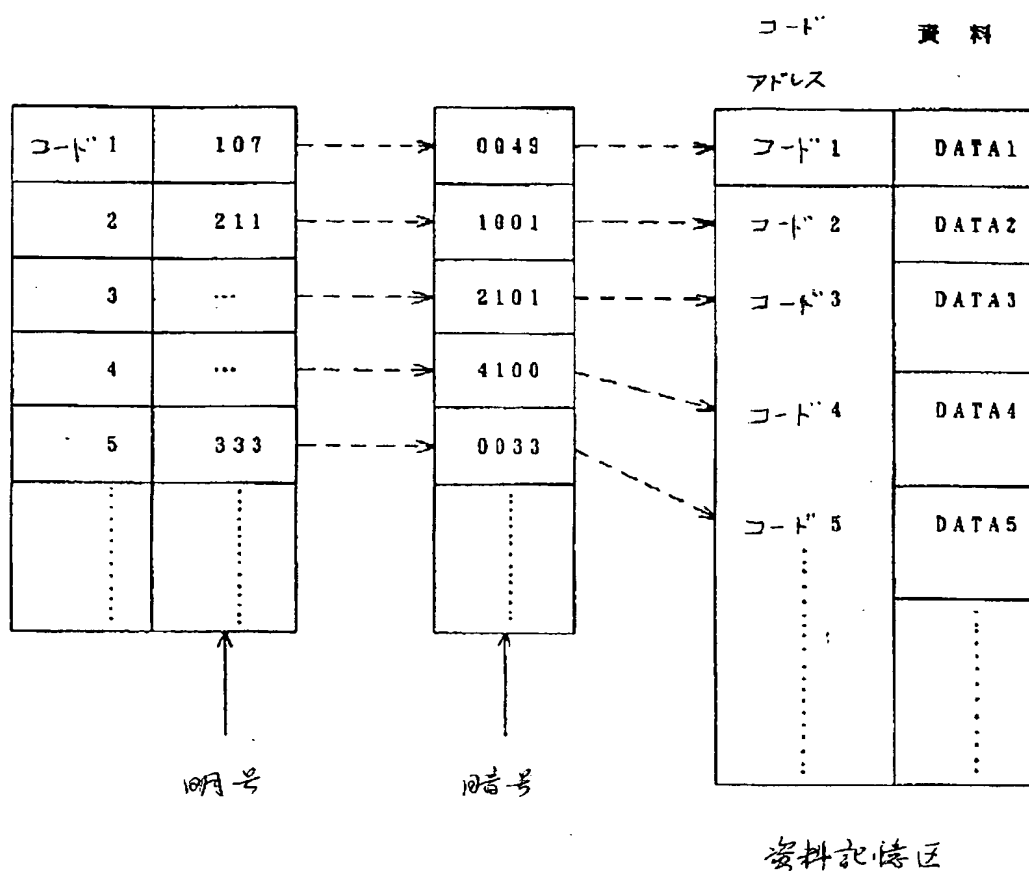
【図5】電話答録機に実施するための構造表示図である。

35 【符号の説明】

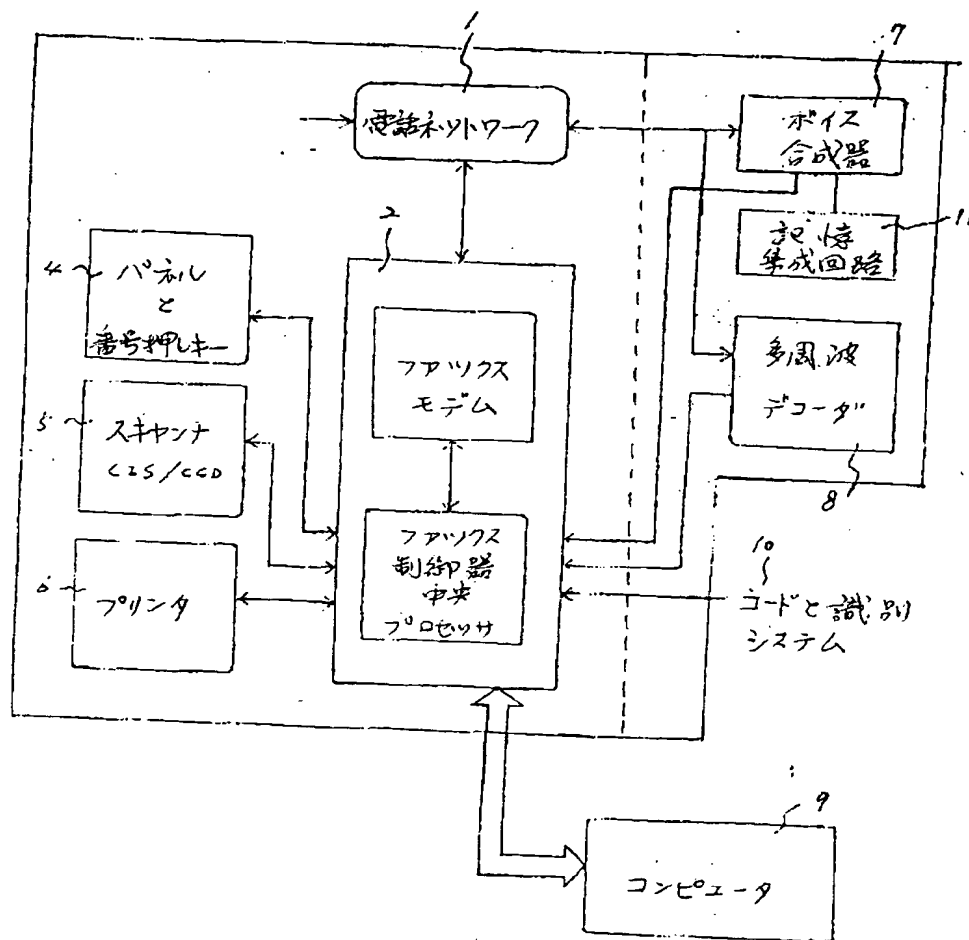
【図1】



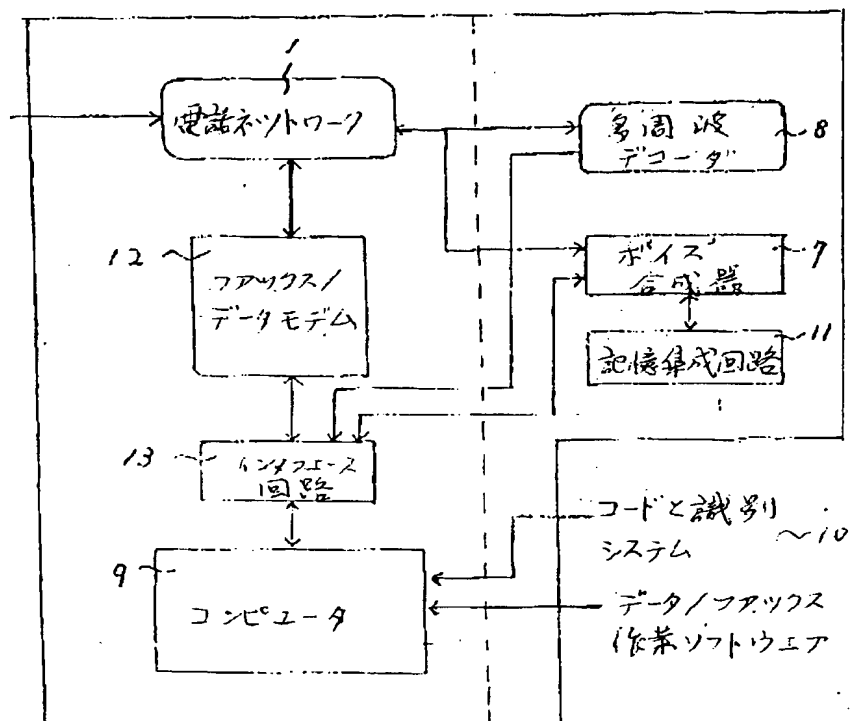
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

